



品川シルバー大学同窓会

2021年9月29日

第93号

会報

品川シルバー大学同窓会 事務局
TEL 070-8412-0523
ssu.dosokai.jm@gmail.com

見学会・講演会のメールでの申込みは ssu.dosokai@gmail.com (問合せ080-6634-6797)

2021年度第1回見学会

- 実施：2021年7月15日(木) 13:30-15:30
- 場所：高輪ゲートウェイ駅周辺
- 参加者：71名

過去と未来の交差点 「高輪ゲートウェイ」周辺歩きについて

荒井 悦子 (2019年入会)



高輪ゲートウェイ駅構内

蒸し暑い日でした。重ねて雷雨の予報も出ていたので、雨女の私としては、傘の用意も準備万端。幸い雨に合わず、暑さを除けば絶好のウォーキングとなりました。

高輪ゲートウェイ駅を皮切りに、高輪築堤(友人から東京新聞の切り抜きが送られており、読んでいただけに興味深かった)、江戸の玄関口の大木戸、おばけトンネル、開業予定の羽田空港アクセス線の線路下を潜り、品川シーズンテラスまでの約1時間のコース。

まず、高輪ゲートウェイ駅。隈研吾氏設計の南三陸杉を使った駅は落ち着きがあり、開放的な空間のためか、何より明るい。無人駅と聞いてびっくり。無人のコンビニもあるようだったので、ちょっと覗いてみたかった。



高輪築堤跡

次に、高輪築堤。京浜東北線で品川駅を過ぎたあたりから見える白い塀沿いに、人が歩いているのが見えていたが、そこが日本初の鉄道の開業時に、当時の海岸線(現：田町駅-品川駅間)に沿うように、堤を建設して線路を敷設した日本最古の鉄道跡となる高輪築堤。今しか見られない貴重な築堤を、近くで見られた事は何よりでした。

次に、東海道から江戸府内の入口として設けられた大木戸の跡。機械もない時代にこんな石垣を作るなんて昔の人はすごいですね。また、伊能忠敬はここを全国測定の基点としたとのこと。初めて知りました。

おばけトンネル? お化けでも出るトンネルかと思いきや、何でもタクシーの行灯が擦れて壊れるほど、または身長の高い人は首を垂れないと頭頂部がガード天井にぶつかるほど低い、そんな状況から名づけられたそうですが、よく考えついたものである。おばけ・・・より芝浦側へ抜ける近道の方が通りたくなると思ったりもしますが・・・。

おばけトンネルを抜けて羽田空港アクセス線になるだろう線路を見上げつつ、芝浦中央公園を抜け、最終目的の品川シーズンテラスに



おぼけトンネル入り口

到着。ここでは芝浦水再生センター内の浄水処理の設備の上部にフタをした人工地盤の上に造られているとのこと。省エネ・省コストですね。日本の技術は凄い。

今回は普段行けそうもないところのウォーキング、加えて説明もしていただき、新発見の連続でとても楽しかったです。ご案内ありがとうございました。

幹事の皆様、色々お世話になり、ありがとうございました。



品川シーズンテラス(筆者も参加した3班の仲間)

参加者からのひとこと感想

- ・久しぶりの見学会、天気も良く楽しかった。
- ・楽しい時間でした。みんなで話しをしたいと思います。
- ・ガイドの説明が素晴らしく、楽しかった。
- ・マスクで聴こえづらいところもあったが、最終の公園が涼しく、気持ちよく終われました。
- ・東京の隠れた歴史を感じることができました。
- ・近いうちに、また一人で来たいと思います。
- ・ゲートウェイの構内、その周辺工事中を含め、広い光景を楽しみました。
- ・久しぶりに皆さんと外出見学ができて楽し

く、うれしかったです。(同様の内容多数)

- ・測量の0メートル地点、初めて知りました。
- ・一度は来てみたいと思ったところに来られました。来られてよかったです。
- ・過去と混在していて面白く楽しかった。
- ・地元が再開発され喜ばしいことです。
- ・江戸、東京の歴史がわかる今回のような見学会を希望します。
- ・木曜日だったので久しぶりに参加できました。
- ・歩く距離も適当で、涼しい場所にも恵まれ、集まった人々も、案内して下さった方々も素敵な人たちばかりで楽しめました。

第2回講演会報告

区民プロデュース型講座—

瓜生和徳の戦国三英傑第1回

「織田信長と重臣たち」

信長の虚像と実像

講師：大江戸歴史散策研究会 代表 瓜生和徳

○日時：

2021年8月27日(金)
14:00~16:00

○場所：

中小企業センター3階
レクリエーションホール

○参加者：49名

品川区(文化観光課文化

振興係)では、広く区民の生涯学習を支援するため区に代わって自主的な企画・運営により講座(5回シリーズ以上)等を開催する団体を募集し助成しています。今回の講座は、同窓会がこれに応募し採択された戦国三英傑(信長、秀吉、家康)5回シリーズの第1回です。

参加者の募集は、事業の性格上同窓会会報のみならず区広報でも行われ一般区民も参加可能となります。会場は中小企業センターのレクリエーションホール(定員168名)を予約し準備を進めてきましたが、緊急事態宣言の発出等により中小企業センターの会議室などは、定員に関わらず蜜を避けるため参加者制限を実施し、レクリエーションホールは49名となってしまいました。他の代替施設もなく、応募者118名に対し当選者49名(当日欠席者分を役員が使う)



と大半の方の希望に沿えないという大変遺憾な結果となってしまいました。

この対応策として同窓会の12月に予定されている次回講演会で、瓜生先生の協力も得て「戦国三英傑総集編」を実施することを予定しております。大変恐縮ではありますが、希望がかなわなかった方の参加を期待しております。

品川シルバー大学同窓会会長 保坂駒雄

講演要旨



戦国時代を象徴する武将、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康は、『戦国の三英傑』と呼ばれ親しまれています。この『戦国の三英傑』の魅力は何処にあるのか、はたして今まで考えられていたイメージは本当なのか、この戦国の三英傑の虚像と実像に迫っていきます。さらに3人のそれぞれの重臣たちとの関係などからも、その性格や秘話などを紹介します。まず第一回は、織田信長です。信長と言えば、うつけ者・神仏を恐れぬ冷徹な人・未来人など、他の武将とは一線を画した強烈なイメージを抱かせています。しかし、近年の事象からこうした信長への固定されたイメージが、何ら根拠のないものに過ぎないことがわかってきました。信長といえば「泣かぬなら殺してしまえホトトギス」の句で有名です。この句のように信長は短気ではげしい気性なのでしょうか。実は、信長は「我慢強い、努力家だった」とも言われています。少年時代からの風体や行儀作法などから「大うつけ」と言われていました。実はこれには、信長自身の信念があったのです。当時の領主の子息は、武芸よりも文芸（書や和歌、茶や蹴鞠など）を嗜むことが良い領主になれるとされていました。しかし、

信長は、文芸を嫌い、馬術、水泳、相撲などに興じていました。いざ戦の時に、領主が先頭に立って戦わなければ家臣については来ないという、考えがあったからとされています。冷酷無比な性格はどうでしょうか。信長はよく家臣に裏切られました。しかし、一度目の裏切りは許しました。そして、2度目に裏切ると冷酷無比に容赦無かったのです。こうしたことから、信長はむやみやたらに冷酷ではなかったことがわかるのです。また、楽市楽座などの革新的な改革は、信長が最初に行なったというのも間違いです。信長が安土城築城の際に、安土の街で行う30年も前に、六角氏が近江で行なっていたとされています。比叡山の焼き討ちも神仏を恐れない冷酷無比な仕業となっていますが、これも若干違います。比叡山では、僧侶たちが金と女に溺れ、墮落していました。そんな比叡山を、信長より以前に足利6代將軍義教、管領細川政元が攻めていました。信長は3人目なのです。また、女・子供など3,000人も虐殺したとされていますが、これも正確性に欠けると言われています。信長のヒーロー化現象は、江戸時代に作られました。戦のない平穏な生活が続く中で、昔の武将をヒーロー化して本や芝居、講談など空想の中だけでも楽しもうとする庶民からの期待から生まれた虚像だったのです。瓜生和徳



参加者からのひとこと感想

- いままでの織田信長像がすっかり変わってしまいました。マザコン、ダメダメ・・・など。人間としてやさしくて可愛い子供みたいな所がある武将だったのですね。
- 日本史についてどうも信用できない思いが強かったのですが、本日のお話でその思いを更

に強くしました。人間信長の方が魅力はあると思いましたが、今後は楽しみです。

- ・織田家は非常に皆と仲が悪かったといわれる。比叡山の焼き討ちは信長が最初ではなく、3人目だったといわれるなど、興味のあるお話でした。
- ・とても面白く勉強になりました。イメージが変わりました。
- ・裏話が面白かった。
- ・信長の子供に女子はいなかったのですか 徳姫？
- ・瓜生先生流「信長と重臣たち」の講話を楽しく拝聴致しました。感謝です。
- ・信長の通説とされていた事柄と少し違う点もあり面白く拝聴しました。信長は『情けのある未成熟な大人』だったとのこと。次回も楽しみです。
- ・理解し易かったが少々早めで進め方が早かった(メモ取る時が少ない)
- ・先生にしてはいつものことで、お話されたと思いますが、時々マスクの中でもごもご聞き取りにくいこともありました。

第2回講演会報告

区民プロデュース型講座—
瓜生和徳の戦国三英傑第2回

豊臣秀吉の虚像と実像

○日時：

2021年9月7日(火) 14:00~16:00

○参加者：49名

今回は前回と比べ、天候にも恵まれ大変盛況でした。次回もご参加よろしくお願ひします。

川柳雑詠

ご無沙汰の	咬んでみる	五年越し	車椅子
友より届く	味まで見たい	努力練習	ラグビータックル
文うれし	金メダル	金になり	火花散る
きくえ	きくえ	のぼる	のぼる

講演要旨、ひとこと感想は次号に掲載の予定です。

あとがき

「戦国三英傑」の実像を鋭く突いて、わかりやすくお話しいただく講義が続きます。当日参加がかなわなかった会員の方々にも楽しんでいただけるよう、次号では瓜生先生に、まとめて講演要旨をご寄稿いただきます。少々変則的な紙面となりますが、93号、94号とお楽しみいただければ幸いです。(S.K)

見学会のご案内

★見学会(第2回)

行先 深川まちあるきガイドサービス

深川佐賀町・永代橋コース

日時 2021年

① 11月25日(木) 13時~15時

② 11月26日(金) 13時~15時

集合 都営大江戸線門前仲町駅改札口

受付 ①②とも 12時30分~12時45分

募集 ① 35名

② 35名

会費 50円(保険料のみ)

ガイドは無料です。

詳細内容・申込み方法

同封のチラシを参照ください。

多数の方のご応募をお待ちしています。

締切日 2021年10月9日(土)

~~~~~

★今後の行事予定

(詳細は11月号にご案内)

・第3回講演会

演題 瓜生和徳の戦国三英傑総集編

講師 瓜生和徳

日時 2021年12月24日(金)

・第3回見学会

行先 瓜生先生のガイドで歩く

明治神宮

日時 2022年1月24日(月)